

一般社団法人 日本自動車会議所 第87回定時総会

内山田 竹志会長 ご挨拶

本日は、依然として新型コロナウイルス感染の収束が見通せない大変な時期にもかかわらず、リモートの方も含め、多数の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、平素から私ども日本自動車会議所の活動に、格別のご理解とご協力をいただいておりますことを、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

現下の状況に鑑みまして、昨年につき、リモートで議長をつとめさせていただきます。また、大変残念ながら、総会終了後の懇親会につきまして、やむなく「中止」とさせていただきます。何卒、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さて、未曾有のコロナ禍は、自動車産業にも大きな影響を及ぼしております。自動車関連就業人口550万人を支えるベースとなっている新車販売は、残念ながら2020年度は前年比7.6%減となり、大台の500万台を割り込みました。4月には少し持ち直しておりますが、タクシーやバスなど運輸系の業界は、大変厳しい状況が続いております。自動車産業は、すそ野が大変広い基幹産業であるだけに、さまざまな業種や雇用、地方経済への波及が懸念されます。

今こそ、自動車業界の結束が求められている時であり、共に働く550万人が、社会のライフラインである自動車を通じて、それぞれの分野でコロナ禍とも戦いながら、日本経済や国民生活に貢献すべく不断の努力を続けていらっしゃいます。皆さまに改めて敬意を表しますとともに、心から深く感謝申し上げます。

自動車産業が、100年に一度ともいわれる大変革期の中、当会議所は、この6月で創立75周年の節目の年を迎えることとなりました。これもひとえに、会員の皆さまをはじめ関係者の方々のご支援の賜物でございます。

75周年を迎える今年度の事業は、引き続き、自動車関係諸税の抜本的見直し、交通安全の取り組み、自賠責保険料積立金約6,000億円の早期繰戻し、クルマ・バイク好きの拡大などの重点事業を積極的に推し進めていくとともに、この節目を機に、役員体制の見直しをはじめ、550万人の方々に向けて「ありがとう」と感謝を伝える表彰制度の創設、2050年カーボンニュートラルの実現やSDGsへの取り組みも強化し、新たな時代へ向けて事業を再構築していくこととしております。

当会議所は、より良いモビリティ社会と自動車産業へ貢献するため、チャレンジを続けてまいりますので、引き続きのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上